

授業アンケートの 明るく、楽しい活用事例 No.2

データを活用した授業改善

授業アンケートによる授業改善とよく言われますが、データは何を改善しなければならないかは、教えてくれますが、どうすべきかまでは、教えてくれません。

そのため、授業アンケートを用いて授業改善ができる者はほとんどいません。授業アンケートは試行錯誤の改善を試みた結果を確かめるものです。

本シリーズ第2弾では、今回は、授業改善の成果を授業アンケートに限らず、データで確かめることができ嬉しくなった者の事例を集めてみました。

安岡先生から授業外学習時間を確保する工夫、ICTの活用について、お話いたします。
持田先生には、授業開始と終了時に行うアンケートと小レポートによる評価を取り入れることで、フェアネスな環境を作り出す工夫を、
安積先生からは、新任教員FD研修での経験を生かした授業実践とその成果について、ご紹介いたします。
そして、それぞれの授業改善の成果をデータで確かめた結果について、お話をさせていただきます。

Application

11/22（金）までに、メールにてお申込みください。

タイトル：「11/26 教学実践フォーラム」

本文：①ご所属 ②お名前(フリガナ) ③出席を希望されるキャンパス

宛先：fd71cer@st.ritsumeai.ac.jp

Presenter

安岡高志

教育開発推進機構

持田泰秀

理工学部

安積卓也

情報理工学部

When

11月26日（火）

18:30～20:30

Where

衣笠

至徳館301

BKC

アクロス11

朱雀

602

教育開発

推進機構